



平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 30 日

上場会社名 タカラバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4974 URL http://www.takara-bio.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 木村 睦 (TEL) 077(543)7212
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 10 日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 23 年 3 月期第 1 四半期の連結業績(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 1 四半期	3,772	2.1	32	-	34	-	234	-
22 年 3 月期第 1 四半期	3,852	3.4	248	-	154	-	122	-

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	832 35	- -
22 年 3 月期第 1 四半期	434 56	- -

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 1 四半期	42,268	37,619	89.0	133,322 99
22 年 3 月期	43,651	37,799	86.6	133,971 25

(参考)自己資本 23 年 3 月期第 1 四半期 37,615 百万円 22 年 3 月期 37,798 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 3 月期	- -	0 00	- -	0 00	0 00
23 年 3 月期	- -				
23 年 3 月期(予想)		0 00	- -	0 00	0 00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	8,589	1.2	264	-	236	-	360	-	1,278 43
通 期	19,350	0.1	800	44.6	1,000	15.6	600	1.6	2,128 59

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期1Q	282,139株	22年3月期	282,139株
23年3月期1Q	-株	22年3月期	-株
23年3月期1Q	282,139株	22年3月期1Q	282,009株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) その他の注記	9
4 . 補足情報	9
(1) 経営管理上重要な指標の推移	9
(2) 生産、受注及び販売の状況	10
(3) 四半期連結比較損益計算書	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出の拡大により企業の業績が改善してまいりましたが、欧州の信用不安や、米国および中国の景気先行き懸念等の影響を受け、景気回復の持続に対する不安感をぬぐいきれない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは長年培われたバイオテクノロジーを活用し、遺伝子工学研究分野、遺伝子医療分野、医食品バイオ分野の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

その結果、売上高は、遺伝子工学研究分野における理化学機器の減少(217百万円)が響き、前年同期比80百万円(2.1%)減少の3,772百万円となりました。売上原価は、原価率の改善により前年同期比189百万円(10.5%)減少の1,607百万円となりましたので、売上総利益は前年同期比108百万円(5.3%)増加の2,164百万円となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の減少により前年同期比107百万円(4.7%)減少の2,197百万円となりましたので、営業損失は32百万円(前年同期比216百万円増益)となりました。

金利低下による受取利息の減少や、前期の為替差益が当期は為替差損に転じたこと等により、経常損失は34百万円(前年同期比120百万円増益)を計上することとなりました。

特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額77百万円を計上いたしましたので、税金等調整前四半期純損失は123百万円(前年同期比43百万円増益)となりました。

前期に計上した過年度法人税等の反動や当期の利益の増加等により法人税等が152百万円増加いたしましたので、四半期純損失は234百万円(前年同期比112百万円減益)を計上することとなりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

[遺伝子工学研究]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当分野をコアビジネスと位置づけております。

当分野の品目別売上高の状況は、主力製品である研究用試薬の売上高は、円高の影響を受けましたが前年同期比で増加いたしました。理化学機器は、質量分析装置等の大型機器の売上高が減少し、前年同期比で大幅に減少いたしました。また、研究受託サービスの売上高も前年同期比で減少いたしました。

以上の結果、当分野の外部顧客に対する売上高は3,110百万円(前年同期比94.5%)と減収となりましたが、原価率の改善により売上総利益は2,039百万円(前年同期比103.4%)と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、人件費および管理費等の増加により1,345百万円(前年同期比103.8%)と増加いたしました。営業利益は694百万円(前年同期比102.7%)と前年同期を上回りました。

[遺伝子医療]

当分野においては、最近の急速な細胞生物学の進歩によって基礎研究と臨床応用の距離がますます短くなり、再生医療の実用化が急速に進むなかで、遺伝子治療・細胞医療の早期商業化に注力しております。当社グループは、高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法およびRNA分解酵素等の自社技術を利用したがんとエイズの遺伝子治療・細胞医療の臨床開発を進めております。

当分野の外部顧客に対する売上高は112百万円(前年同期比145.3%)と大幅な増収となり、売上総利益も46百万円(前年同期比160.6%)と増加いたしました。販売費及び一般管理費は研究開発費を中心に322百万円(前年同期比85.7%)と減少いたしましたので、営業損失は276百万円(前年同期営業損失347百万円)と改善いたしました。

[医食品バイオ]

当分野では、食から医という「医食同源」のコンセプトに基づき、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して日本人が古来常食してきた食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天オリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当四半期は、健康志向食品の売上高が前年同期比で減少いたしました。キノコ関連製品の売上高は前年同期比で大幅に増加いたしましたので、当分野の外部顧客に対する売上高は548百万円(前年同期比113.2%)と増収となりました。原価率の改善により、売上総利益は78百万円(前年同期比142.9%)と増加し、販売費及び一般管理費は175百万円(前年同期比69.3%)と減少いたしましたので、営業損失は96百万円(前年同期営業損失198百万円)と改善いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態に関する分析)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は42,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,382百万円減少いたしました。この減少の主な内容は、受取手形及び売掛金の減少1,431百万円、有価証券の減少520百万円、たな卸資産の減少243百万円、現金及び預金の増加805百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,203百万円減少いたしました。この減少の主な内容は、支払手形及び買掛金の減少830百万円、未払法人税等の減少268百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は37,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少いたしました。この減少の主な内容は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少234百万円、為替換算調整勘定の増加51百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、売上債権の減少、減価償却費(その他の償却額含む)、たな卸資産の減少等による収入がありましたが、税金等調整前四半期純損失の計上、仕入債務の減少、定期預金の預入による支出等により、前連結会計年度末残高に対して1,879百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には5,940百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失の計上123百万円、仕入債務の減少830百万円、法人税等の支払額320百万円等がありましたが、売上債権の減少1,433百万円、減価償却費(その他の償却額含む)385百万円、たな卸資産の減少242百万円等により545百万円の収入となりました。前年同期に比べ192百万円の収入減少となりましたが、これは仕入債務の減少による支出の増加448百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出2,231百万円、有形・無形固定資産およびその他償却資産の取得による支出253百万円等により2,403百万円の支出となりました。前年同期に比べ2,629百万円の支出増加となりましたが、これは定期預金の預入による支出の増加2,132百万円、有価証券の売却及び償還による収入の減少473百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による12百万円の支出となりました。前年同期に比べ5百万円の支出増加となりましたが、これはリース債務の返済による支出の増加5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は前年同期と比較して減収増益(当期純利益は減益)となりましたが、当初計画に対しては、売上高は理化学機器の未達により計画を下回っておりますが、各利益項目(売上総利益・営業利益・経常利益・当期純利益)は計画を上回って推移しております。

しかしながら、為替変動等の外部環境をはじめとして不確定要素も多いことから、現時点においては平成22年5月11日に公表した連結業績予想を修正しないことといたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

・表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,569	13,763
受取手形及び売掛金	3,230	4,661
有価証券	4,126	4,647
商品及び製品	1,818	2,095
仕掛品	288	246
原材料及び貯蔵品	725	734
その他	1,211	1,107
貸倒引当金	20	24
流動資産合計	25,950	27,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,162	8,060
減価償却累計額	4,389	4,244
建物及び構築物(純額)	3,773	3,815
機械装置及び運搬具	6,914	6,909
減価償却累計額	5,192	5,142
機械装置及び運搬具(純額)	1,721	1,766
工具、器具及び備品	4,598	4,594
減価償却累計額	3,505	3,481
工具、器具及び備品(純額)	1,092	1,112
土地	4,494	4,493
リース資産	100	100
減価償却累計額	34	28
リース資産(純額)	66	71
建設仮勘定	309	196
有形固定資産合計	11,458	11,457
無形固定資産		
のれん	1,812	1,830
その他	789	825
無形固定資産合計	2,602	2,655
投資その他の資産	2,256	2,305
固定資産合計	16,317	16,418
資産合計	42,268	43,651

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	505	1,335
短期借入金	45	45
未払法人税等	95	363
賞与引当金	451	296
その他の引当金	5	6
その他	1,465	1,808
流動負債合計	2,567	3,856
固定負債		
長期借入金	410	410
退職給付引当金	1,108	1,077
その他	562	506
固定負債合計	2,080	1,994
負債合計	4,648	5,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,053	9,053
資本剰余金	26,980	26,980
利益剰余金	2,721	2,956
株主資本合計	38,755	38,990
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	1,139	1,191
評価・換算差額等合計	1,139	1,191
少数株主持分	4	0
純資産合計	37,619	37,799
負債純資産合計	42,268	43,651

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,852	3,772
売上原価	1,796	1,607
売上総利益	2,056	2,164
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	425	456
研究開発費	751	595
引当金繰入額	82	100
その他	1,045	1,045
販売費及び一般管理費合計	2,305	2,197
営業損失()	248	32
営業外収益		
受取利息	24	6
為替差益	64	-
その他	8	5
営業外収益合計	97	12
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	-	11
その他	0	0
営業外費用合計	2	14
経常損失()	154	34
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	3
特別利益合計	-	3
特別損失		
固定資産除売却損	12	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	77
特別損失合計	12	92
税金等調整前四半期純損失()	166	123
法人税、住民税及び事業税	98	79
過年度法人税等	63	-
法人税等調整額	79	28
法人税等合計	44	108
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	231
少数株主利益	-	3
四半期純損失()	122	234

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	166	123
減価償却費	312	280
その他の償却額	120	104
のれん償却額	35	35
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	3
その他の引当金の増減額(は減少)	171	183
受取利息	24	6
支払利息	2	1
固定資産除売却損益(は益)	12	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	77
売上債権の増減額(は増加)	1,000	1,433
たな卸資産の増減額(は増加)	167	242
仕入債務の増減額(は減少)	382	830
その他	126	553
小計	788	856
利息及び配当金の受取額	30	11
利息の支払額	1	0
法人税等の支払額	77	320
営業活動によるキャッシュ・フロー	738	545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	99	2,231
定期預金の払戻による収入	125	82
有価証券の売却及び償還による収入	473	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	184	223
その他償却資産の取得による支出	50	29
その他	38	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	226	2,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	6	12
財務活動によるキャッシュ・フロー	6	12
現金及び現金同等物に係る換算差額	131	9
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,090	1,879
現金及び現金同等物の期首残高	11,715	7,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,805	5,940

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	遺伝子工学研究 (百万円)	遺伝子医療 (百万円)	医食品バイオ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,290	77	484	3,852	-	3,852
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	0	0	(0)	-
計	3,290	77	484	3,852	(0)	3,852
営業利益又は営業損失()	676	347	198	130	(379)	248

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	2,329	404	784	333	3,852	-	3,852
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	478	360	359	-	1,199	(1,199)	-
計	2,808	765	1,144	333	5,051	(1,199)	3,852
営業利益又は営業損失()	56	174	31	43	129	(378)	248

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)
海外売上高(百万円)	484	767	328	2	1,582
連結売上高(百万円)					3,852
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	12.6	19.9	8.5	0.1	41.1

〔セグメント情報〕

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は、取扱う製品・サービスについて国内および海外の子会社を含めた包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「遺伝子工学研究」、「遺伝子医療」および「医食品バイオ」の3つを報告セグメントとしております。各セグメントにおける主要製品は下表のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
遺伝子工学研究	研究用試薬（遺伝子工学用、蛋白質工学用、細胞工学用）、理化学機器、研究受託サービス、遺伝子工学研究関連特許実施許諾対価料
遺伝子医療	遺伝子導入関連製品、遺伝子治療用材料、細胞医療用技術支援サービス、研究受託サービス、遺伝子医療関連特許実施許諾対価料
医食品バイオ	健康志向食品（ガゴメ昆布フコイダン関連製品、寒天オリゴ糖関連製品、明日葉カルコン関連製品）、キノコ（ハタケシメジ、ホンシメジ、ブナシメジ）、ブナシメジ特許実施許諾対価料

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	遺伝子工学 研究	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,110	112	548	3,772	-	3,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	3,110	112	548	3,772	-	3,772
セグメント利益	694	276	96	321	354	32

(注) 1. セグメント利益の調整額 354百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 354百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) その他の注記

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

研究開発費の総額 595百万円

このうち主なものは、次のとおりであります。

従業員給料及び賞与 211
引当金繰入額 61

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成22年6月30日現在)

現金及び預金勘定 14,569百万円
預入期間が3か月を超える定期預金 12,755
取得日から3か月以内に償還期限が到来する短期投資（有価証券） 4,126
現金及び現金同等物 5,940

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移
キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

回次	第8期 第1四半期連結累計期間	第9期 第1四半期連結累計期間	第8期
会計期間	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	738	545	3,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	226	2,403	7,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	6	12	57

(注) 当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出（純額）2,149百万円がありましたので、前第1四半期連結累計期間に比べ、大きく変動しております。

海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

	アジア (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)
海外売上高(百万円)	626	750	349	3	1,729
連結売上高(百万円)					3,772
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.6	19.9	9.3	0.1	45.9

(注) 前第1四半期連結累計期間の海外売上高は、P. 8「(5)セグメント情報」をご覧ください。

報告セグメントごとの研究開発費

(単位:百万円)

回次	第8期 第1四半期連結累計期間	第9期 第1四半期連結累計期間	第8期
会計期間	自平成21年4月1日 至平成21年6月30日	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成21年4月1日 至平成22年3月31日
遺伝子工学研究	229	229	870
遺伝子医療	311	256	1,599
医食品バイオ	171	71	649
全社共通	39	38	175
合計	751	595	3,294

(2) 生産、受注及び販売の状況

生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
研究用試薬	1,243	97.9
研究受託サービス	320	96.3
その他	19	139.7
遺伝子工学研究	1,583	97.9
遺伝子医療	38	109.9
医食品バイオ	401	87.6
合計	2,023	95.9

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

受注状況

一部受注生産を行っておりますが、ほとんどの場合生産に要する期間が短いこと、かつ、受注残高が僅少であることから、記載を省略しております。

販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
研究用試薬	2,360	100.7
理化学機器	261	54.6
研究受託サービス	278	92.7
その他	210	125.4
遺伝子工学研究	3,110	94.5
遺伝子医療	112	145.3
医食品バイオ	548	113.2
合計	3,772	97.9

(注) 1. セグメント間の内部売上高は除いて記載しております。

2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 四半期連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成22年3月期 第1四半期実績	平成23年3月期 第1四半期実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	2,343	2,360	17	100.7%
理化学機器	478	261	217	54.6%
受託	300	278	21	92.7%
その他ファイン	168	210	42	125.4%
遺伝子工学研究計	3,290	3,110	179	94.5%
遺伝子医療	77	112	35	145.3%
健康志向食品	209	166	43	79.5%
キノコ	274	381	107	139.0%
医食品バイオ計	484	548	64	113.2%
売上高計	3,852	3,772	80	97.9%
(営業損益)				
売上高	3,852	3,772	80	97.9%
売上原価	1,796	1,607	189	89.5%
売上総利益	2,056	2,164	108	105.3%
販売費一般管理費	2,305	2,197	107	95.3%
運送費	56	74	18	133.1%
宣伝費	6	13	6	205.5%
促進費	235	205	30	87.2%
研究開発費	751	595	155	79.3%
商標使用料(宝HLD)	2	2	0	95.6%
管理費、その他	1,232	1,285	52	104.3%
事業税(外形基準)	20	20	0	100.5%
営業利益	248	32	216	-
(営業外損益)				
営業外収益	97	12	84	13.1%
営業外費用	2	14	11	515.4%
経常利益	154	34	120	-
(特別損益)				
特別利益	-	3	3	-
特別損失	12	92	79	747.0%
税引等調整前当期純利益	166	123	43	-
法人税等	44	108	152	-
少数株主損益調整前当期純利益	122	231	108	-
少数株主利益	-	3	3	-
当期純利益	122	234	112	-
減価償却費(有形・無形)	312	280	32	89.7%
研究開発費	751	595	155	79.3%

セグメント別損益(営業利益)

	平成22年3月期 第1四半期実績	平成23年3月期 第1四半期実績	前期比 増減	前期比 比率
遺伝子工学研究	676	694	18	102.7%
遺伝子医療	347	276	71	-
医食品バイオ	198	96	101	-
共通	379	354	25	-
計	248	32	216	-